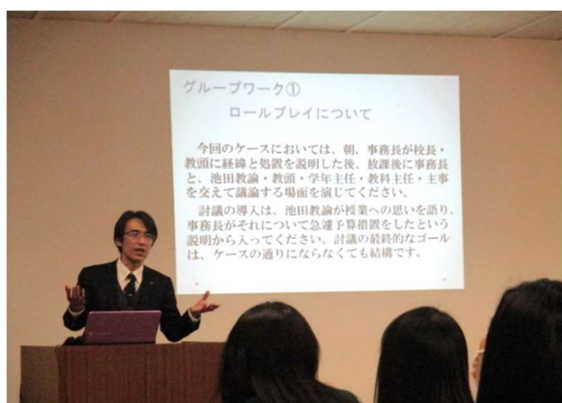


ステージⅣ（職務能力発揮期）研修レポート

令和2年1月23日（木）に、採用20年目～24年目の事務職員を対象とした戦略マネジメント研修を行いました。今年度のステージ別研修は、教育の質の向上のために教育ビジョンを共有し、戦略的な学校事務を展開し学校経営参画を果たしていくとともに、リーダーとしての組織運営力を養うことを目的とし、全国公立小中学校事務職員研究会 副会長 埼玉県嵐山町立玉ノ岡中学校 事務主幹 前田 雄仁氏を講師に迎えました。



午前中は、戦略マネジメントについての講義として「戦略マネジメントにおける事務長の役割」「学校経営、学校における『戦略』とは」「戦略的思考による事業展開」や「戦略マネジメントの展開とリーダーの役割」について学びました。学校に戦略が求められる時代になった今、事務職員もこれからの学校経営に必要な「各校の特色ある教育課程編成」「各団体とのネットワーク化」

「顧客としての保護者との関係づくり」に積極的に参画していくため、学校経営サイクルを具体的に「5W4H」で考えていくことや、総合力と総合マネジメントについて、「PDCA サイクル」の他に「OODA ループ」という手法があることなどをお話いただきました。

その後、全国公立小中学校事務職員研究会の岡山大会で発表された「学校経営におけるビジョンと戦略」について、全事研 研究開発部 池田 安孝氏を交え、学校経営におけるビジョンと戦略を三つのポイントに沿ってお話いただきました。また、前田氏が室長を務める嵐山町の共同学校事務室の実践についての紹介がありました。共同学校事務室の事務分掌や学校評価等のデータ化による各校分析、予算委員会で学校総会計のグラフを作成し、目に見える提案をされているなど、具体的な実践事例についてお話いただきました。

午後は、「あなたが一番許せないのは誰ですか？」という問いかけによるアイスブレイクから始まりました。自分と異なる意見を聞き、「確かに」と頷き考える受講者の姿が見られました。ここで、「立場によって考え方が大きく変わる」ということを実感しました。

演習では、事前課題で出されたケース「質の高い教育の実現に向けて…事務長の役割って何？」を読み込み、それぞれ考えてきた良い点と問題点をグループごとに付箋

に書き出して共通理解を図りました。その後、グループごとに校長先生や事務長、教諭等の役になりきり、ロールプレイを行いました。それぞれの立場から熱く意見を交換し合う姿が見られました。1度目のロールプレイの後、講師から「事務職員が組織開発の起爆剤になっていけるかという戦略的視点をもって」というアドバイスを受け、再度、ロールプレイを行いました。これにより、客観的な視点をもつと同時に自己の役割に気づき、協働の中で課題解決に導くための力を身に付けることができました。



その後のグループワークでは、ケース・スタディの内容と、「K 中学校学校経営ビジョン」を用いて、K 中学校の現状から課題を定め解決手段を考えました。さらに、それらに対するアプローチを「学校を良くするための事務長の提案」として、事務職員の実践行動について話し合いました。ケースを用いて考えることで、様々な状況下での判断力や実践・行動していくための力を養うことができました。



最後に、グループごとに午前中に学んだ戦略的手法を用いて提案書を作成し、発表しました。どの班も、戦略的手法を用いながら様々な角度からアプローチした提案・発表をしました。

まとめに、講師から「どう子どもたちを育てたいのか」のビジョンを共有し、戦略を生み出し、目標を達成するために仕向ける仕組みづくりに貢献していくことが事務をつかさどる私たちの仕事、ポジティブシンキングで頑張りましょう、とエールをいただきました。

受講後の振り返りでは、「講話とグループワークでの実践で、中・長期的な視点を持ち、いろいろな立場から戦略的に物事を考える経験ができた。」「学校経営ビジョンを読み込んで、校長先生とお話をする機会をもってみたい。」といった感想が寄せられました。

受講者の方々には、自校での実践内容について後日、事後レポートとして提出していただくことになっています。研修で学んだスキルを活かし、各校で実践することで戦略的な学校事務を展開し、子どもたちのためにより良い学校経営参画を果たしていただきたいと思います。また、学校だけではなく、市町の事務研究会や共同実施のリーダーとして様々な場面で力を発揮していただけることと思います。